

物価高に対応する事業を中心とした 「市民生活応援」予算

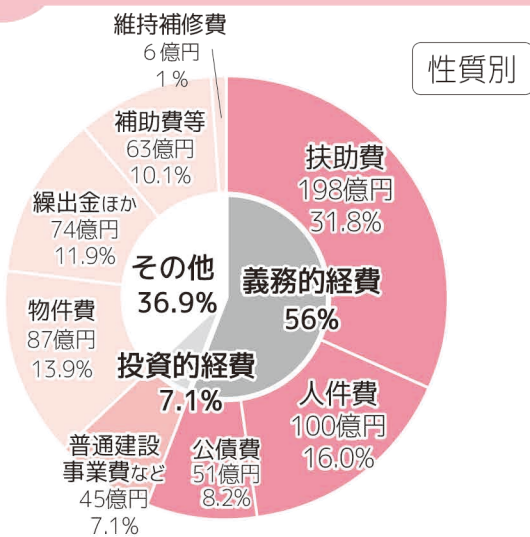
■問合せ 財政課
☎ 41-2507
FAX 41-2552

2番目の予算規模となった8年度予算！

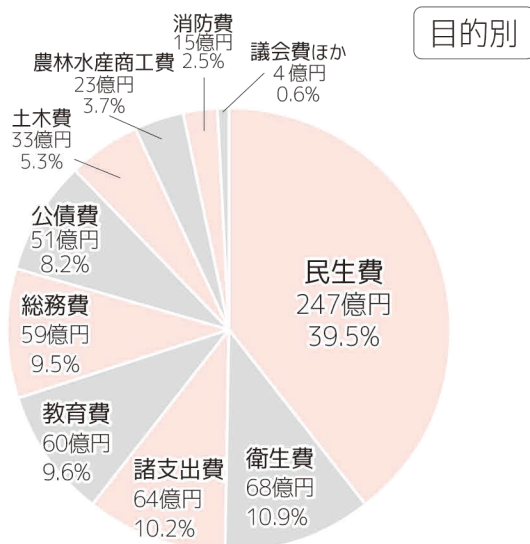
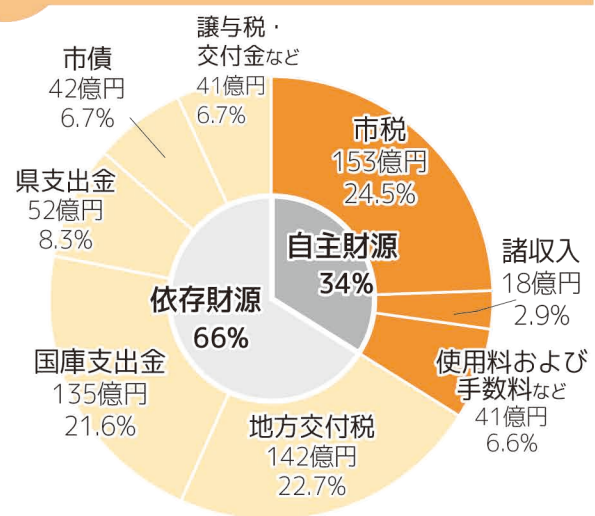
以下の3点を重点的に取り組みます。

- ①物価高騰に対し、7年度補正予算と8年度当初予算による支援を併せて実施することで、市民の暮らしや市内事業者の経営を下支えします。
- ②若い世代に魅力的な雇用の場の確保に向け、AI・IT企業の誘致や地域企業への就業、UIJターンの促進など、若者が夢を持って働く環境づくりをさらに進めていきます。
- ③子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、学校給食費の無償化、子どもの医療費や保育料等の支援など、本市独自の子育て支援を進めるとともに、小中一貫教育の推進や誰一人取り残さない学びの保障などの取り組みを進めていきます。

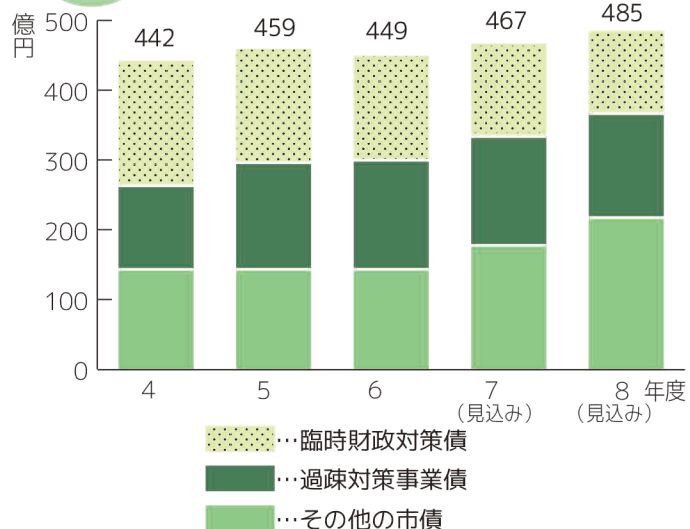
歳出 624億4,000万円



歳入 624億4,000万円



市債 市の借金残高見込み



※本グラフの数値は、単位を億円としているため、合計額とは必ずしも一致しません。



くらしと市内産業を支える物価高騰対策

● **新規** おおむたくらし応援券（地域商品券）発行

食料品価格等の物価高騰下における市民のくらしを応援するとともに、域内における消費促進による経済活性化を目的として、1人あたり5,000円の地域商品券を配付します。食料品等物価高騰支援地域商品券発行事業

※令和7年度補正 5億9,600万円



● プレミアム商品券の発行支援

域内における消費を喚起することで、物価高騰の影響を受ける地域経済の活性化を図るため、大牟田商工会議所によるプレミアム付き商品券の発行に係る事業費支援を拡大します。発行総額14.4億円に増額。

おおむたプレミアム商品券発行事業費補助事業

※令和7年度補正 1億2,750万円

● 省エネ家電への買い換えを支援

省エネ性能の高い家電製品（エアコン、冷蔵庫等）への買い換え費用の補助（1世帯最大5万円）を行い、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減や二酸化炭素排出量の削減を図ります。

省エネ家電製品買換促進事業 1億1,200万円



● 給食費の無償化

学校給食費負担軽減事業 4億2,604万円

詳しくは、特集「子育てするなら、おおむた！」（8～9ページ）に掲載

若者が夢を持って働くまちづくり

● 地域企業への就業促進

関係団体と連携し、企業合同説明会や地元企業と学校の情報交換会等を実施するとともに、魅力的な産業・企業を広くPRする産業フェスタを開催します。また、市内中小企業等に就職した若者に対する支援を行い、地域企業への就業やUIターンを促進します。

地域企業への就業促進事業 374万円

シティプロモーション事業 2,947万円

移住定住促進事業 1,333万円



企業合同説明会

働く若者を応援する支援金・補助金は、13ページに掲載

● 企業誘致の推進

民間所有の工場適地などへの企業誘致や新たな産業団地整備に向けた取り組みとともに、まちなかへのAI・IT関連企業等の誘致を進め、新たな雇用の創出、税収の確保、市内企業との取引拡大など地域経済の活性化を図ります。

企業誘致推進事業 8,017万円

● イノベーション創出の促進

AI・IT関連企業等の誘致に取り組むとともに、産学官金等の関係機関と連携し、デジタル人材の育成や地域企業のIT導入支援など、イノベーション創出に向けた取り組みを一体的に進めます。

イノベーション創出促進事業 255万円

子育て世代に魅力的なまちづくり

● 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

妊娠期から子育て期にわたり、各種相談対応や必要な情報提供・助言・保健指導など、保健や医療、福祉等の連携による切れ目ない支援を継続します。

また、子どもたちの個々の発達の特性を早期に把握し、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう5歳児健康診査を新たに実施します。

母子保健相談事業 4,354万円

乳幼児健康診査事業 1,832万円

妊婦のための支援給付事業 6,952万円

● こども誰でも通園制度 乳児等通園支援事業 993万円

● 公立保育所の整備 公立保育所整備事業 6,890万円

● 保育料等の負担軽減 多子世帯子育て支援事業 2,093万円他

● 小・中学校体育館への空調設置 体育館空調設備設置事業 2,647万円

● ファミリー・サポート・センター事業 ファミリーサポートセンター事業 616万円

● 子ども医療費の支援 子ども医療費助成事業 3億6,733万円

詳しくは、特集「子育てするなら、おおむた！」（8～9ページ）に掲載



誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり

● 健康づくり・フレイル予防の推進

ウォーキング等の運動を促進するとともに、フレイルに関する測定・相談などの充実を図ることで、健康づくり活動に継続的に取り組む市民の増加を目指します。

また、さまざまなフレイル予防活動を推進し、誰もが生涯にわたって元気に暮らすための健康づくりを促進します。

健康づくり推進事業 102万円
フレイル予防事業 765万円



商業施設でのフレイル測定会

● **新規** 防犯カメラの設置補助

安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現に向け、各校区まちづくり協議会が設置する防犯カメラ設置費用の一部を新たに補助します。

防犯カメラ設置補助金交付事業 200万円



● 子どもたちに美しい川や海を残すために ～水洗化促進キャンペーン～

今年度で
終了

公共下水道や合併処理浄化槽への切り替えに対する支援策や生活排水対策の重要性について広報・啓発の充実・強化を図るなど、各家庭の水洗化を促進します。

浄化槽設置整備事業 2億3,912万円
水洗化普及促進事業 7,336万円

合併処理浄化槽
設置への支援



公共下水道の
水洗化制度支援



まちなか再生による活性化

● 官民連携によるまちなかの再生・活性化

まちなか再生未来ビジョンの実現に向けたUDCおおむたの取り組みや若者による主体的なまちづくりの仕組みづくりを進めます。

8年度はUDCおおむたと連携し、遊休地となっている大牟田駅のJR貨物線跡地を活用して、滞在できる空間整備やマルシェ等を実施します。

官民連携まちなか再生推進事業 1億2,745万円
若者発！つながるまちなかづくり事業 152万円



大牟田駅西口でのイベント



JR貨物線跡地活用イメージ

● **新規** 空き家の流通促進・発生抑制

空き家（1年以上居住実態がない住宅）の流通促進と発生抑制のため、空き家のリフォーム（改修）、家財道具の整理等にかかる費用の一部を補助します。また、子育て世帯等には上乗せ補助を実施します。

空き家活用リフォーム等支援事業 210万円



建築物等に関する補助金は、12ページに掲載



空き家を活用した
リフォーム（例）

災害につよいまちづくり

● 排水対策基本計画に基づく浸水対策の強化

排水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から効果的・効率的な浸水対策を実施し、浸水被害の軽減に取り組みます。

- ・ 三川新ポンプ場建設（8年度完成予定）
- ・ 白川雨水管渠の整備
- ・ 手鎌野間川河川改良事業 など

排水対策基本計画に基づき実施する事業 9億390万円



建設中の三川新ポンプ場

7年度 大牟田市の財政状況

■問合せ 財政課

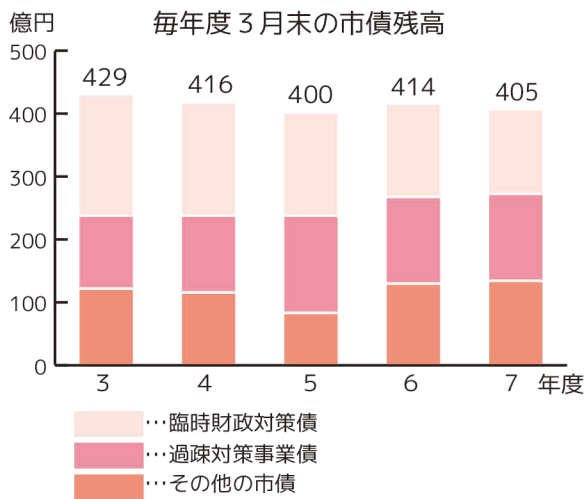
☎41-2507

FAX41-2552

8年3月末現在の予算の執行状況、財産、市債および一時借入金残高を公表します。
 ※7年度の収入済額および支出済額は5月までの出納整理期間を経て確定するため、今回の数値は、決算額とは異なります。確定した決算の内容は12月号の『広報おおむた』で公表する予定です。

●7年度予算の執行状況（会計別）

会計名	予算現在額	7年4月から8年3月まで		うち7年10月から8年3月まで	
		収入済額	支出済額	収入済額	支出済額
一般会計	703億4,122万円	79.6% 559億7,086万円	76.3% 537億 128万円	40.8% 286億7,659万円	40.1% 281億8,789万円
うち市税	150億8,547万円	98.8% 149億1,111万円	—	41.6% 62億7,360万円	—
特別会計					
国民健康保険	140億4,141万円	91.5% 128億4,350万円	86.0% 120億7,001万円	50.5% 70億9,293万円	50.7% 71億2,198万円
介護保険	135億4,118万円	79.5% 107億6,409万円	90.4% 122億4,582万円	38.4% 52億 559万円	49.4% 66億9,002万円
後期高齢者医療	24億8,665万円	93.1% 23億1,594万円	94.5% 23億4,957万円	61.4% 15億2,729万円	65.7% 16億3,447万円
病院事業債管理	15億8,464万円	94.4% 14億9,524万円	96.5% 15億2,944万円	89.0% 14億1,048万円	91.2% 14億4,468万円
財産区	44万円	100.0% 44万円	100.0% 44万円	100.0% 44万円	100.0% 44万円



市債残高	405億 837万円 (8年3月末現在)	一時借入金残高	0円 (8年3月末現在)
------	-------------------------	---------	-----------------

市民一人当たり (7年4月から8年3月)	市民一人当たり (7年10月から8年3月)
使った費用 …526,009円	使った費用 …276,103円
負担した市税…146,056円	負担した市税… 61,450円
市債残高 …396,783円	市債残高 …396,783円

●市有財産の状況

(8年3月末現在 m²は平方メートル、m³は立方メートル)

土地	3,756,426.42m ²	職員退職手当積立基金	1億8,801万円	動物園ゆめ基金	3,758万円
建物	479,593.79m ²	国民健康保険高額療養資金貸付基金	200万円	青少年健全育成基金	482万円
立木	3,395.30m ³	わくわくシティ基金	8,351万円	九州新幹線漏水対策施設維持管理基金	12億 230万円
地上権及び地役権	6,829.84m ²	減債基金	4億8,806万円	財政調整基金	27億8,754万円
著作権	3件	福祉振興基金	2億2,871万円	安心安全まちづくり基金	785万円
商標権	1件	人生トリアスロン金メダル基金	430万円	市立学校施設整備基金	2,688万円
有価証券	1,000万円	庁舎等建設積立基金	30億 658万円	おおむた100若者未来応援基金	6,321万円
出資財産	13万円	ふるさと・水と土保全基金	1,152万円	森林環境譲与税基金	3,019万円
出資金及び出捐金	24億9,771万円	介護給付費準備基金	17億5,554万円	消防応援基金	5,221万円
土地開発基金	2億1,571万円	近代化遺産保存活用基金	3,578万円	ふるさと応援基金	4億2,154万円
廃棄物の埋立地取得及び処理工場建設積立基金	10億 115万円	まちづくり基金	4,874万円		